

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
マンガ制作3											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	大泉 佑一			実務 経験	有	職種	マンガ編集者				
担当教員紹介											
マンガ編集者。 自身もマンガ家を目指していた経験から企業マンガやオリジナルマンガの編集を多数担当。 現在もフリーの編集者として活動中。											
授業概要											
マンガ制作における各工程のプロット・ネーム・下描き・ペン入れ・仕上げの技法を学ぶ。 最低1作品のオリジナル作品を教員や講師と作成することにより、マンガ業界での編集者と取り組む形式と同様な流れを学ぶ。 業界研究を行い、自身が進む方向性に特化したレベルアップを図っていく。											
到達目標											
以下、二つを習得する 1. 個性を生かしたキャラクターを描く技術 2. マンガ制作全般のスキルと制作スケジュール感 3. 自分が今後目指す掲載媒体の方向性											
授業方法											
授業内課題を通して、各工程の制作スキルの向上を図る。 オリジナル作品に関して、各工程でのチェックや打ち合わせを通し、作品クオリティの向上を図る。											
成績評価方法											
オリジナル作品 50% 課題 40% 課題毎に提出。点数により評価 平常点 10% 積極的な授業参加度											
履修上の注意											
この授業では、後期期間を通して、オリジナル作品最低1作品制作してもらうため、必ず作品を提出すること。 4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。完成した作品は必ず持込み又は投稿を行う。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布や提示を行う 参考書・参考資料等は授業中に案内											
回数	授業計画										
第1回	前期末制作振り返り										
第2回	キャラクター制作①／キャラのバリエーション増やす										
第3回	キャラクター制作②／キャラのバリエーション増やす										
第4回	キャラクター制作③／ファッション研究（仕事・作業着）										
第5回	キャラクター制作④／ファッション研究（欧風・ファンタジー）										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
マンガ制作 3	
第6回	演出応用①／構図の考え方
第7回	演出応用②／縦コマ・横コマの使い分け
第8回	演出応用③／見開きコマの使い方
第9回	作画応用①／日常動作の描き方
第10回	作画応用②／アクションシーンの描き方
第11回	作画応用③／複数アクションシーンの描き方
第12回	修了作品制作①
第13回	修了作品制作②
第14回	修了作品制作③
第15回	修了作品制作④